

「冒険の森」の活動

「未来に美しい自然を残す」

人が楽しむために、開発を行い、結果自然が無くなってしまいうハード重視の施設開発ではなく、ありのままの自然を生かしたソフト重視の企画、開発、運営を心がけています。そして山林の地形、樹木を活かして収益を生み出す仕組みを提案します。施設運営を通じて得た収益の一部を、間伐、森林整備の費用に充てることで、本来山が持っていた美しい自然、魅力を未来に残す協力をさせていただきます。

「放置された森林を、自然共生型アウトドアパークとして再活用」

「放置された森林を、人の笑顔で溢れる森に変えることができないか。」

2008年4月「冒険の森」は、山添村の森林に代表のそんな思いからスタートしました。放置林に『ツリートップアドベンチャー』を設置しただけの施設でしたが、創業1年目より1万人近い来場者があり、その収益を基に、周辺の森林整備を行い、徐々に施設を広げてまいりました。オープンより7年が過ぎ、『ツリートップアドベンチャー』のほかにも、『ツリートップアドベンチャー・Jr』『セグウェイツアー』『ストライダー(幼児向けランニングバイク)コース』『団体研修用プログラムコース』が完成、幼児から大人までが楽しめる自然共生型アウトドアパークとなりました。2015年4月には、岐阜県郡上市に2号施設が完成します。

「楽しんで学びを持ち帰る」

「冒険の森」は、レジャー施設としてただ楽しいだけではなく、冒険教育の手法を用い、学びをお土産に持ち帰っていただく施設運営を心がけています。思い切り楽しんだ後、施設での気付き・体験を、職場や学校、私生活に持ち帰って下さい。これまでに、リスクマネジメント、チームビルディングを目的とした校外学習、企業研修、さらには児童養護施設の子どもたち、聴覚障害者のカウンセリングなどにも利用されています。

私たちは、使われなくなった森林に
自然共生型アウトドアパーク「冒険の森」を作り
たくさんの笑顔と美しい自然を、未来に残す活動をしています